

[フェンプロパトリン水和剤]

農林水産省登録 第17116号

性状: 類白色水和性粉末 45 μm以下

毒性: 劇物

危険物: —

有効年限: 5年

包装: 500g × 20袋

ロディー® 水和剤

有効成分: フェンプロパトリン ……………10.0%

殺虫剤分類 **3A**



「住友化学農業ガイド」の見方: i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報: こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧になれます。

[適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
りんご	ナミハダニ ギンモンハモグリガ リンゴハダニ	1000倍	200~700ℓ	前日	本剤: 2回 フェンプロパトリン : 7回 (#1)
	シンクイムシ類・キンモンホソガ アブラムシ類・カメムシ類 ハマキムシ類	1000~1500倍			
うめ	アブラムシ類 ノコメトガリキリガ	2000~4000倍		7日前	本剤: 3回 フェンプロパトリン : 8回 (#4)
	ケムシ類 モモヒメヨコバイ	2000倍			
かんきつ	アブラムシ類・ミノガ類	1000~2000倍		7日前	本剤: 4回 フェンプロパトリン : 9回 (#2)
	チャノキイロアザミウマ	2000倍			
	ハスモンヨトウ	1000倍			
なし	カメムシ類・ハダニ類・コガネムシ類	1000~1500倍		前日	本剤: 2回 フェンプロパトリン : 7回 (#1)
	シンクイムシ類・アブラムシ類・ハマキムシ類				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	2000倍		21日前	
もも	モモハモグリガ	1000~2000倍		前日	本剤: 5回 フェンプロパトリン : 10回 (#3)
	アブラムシ類・シンクイムシ類	1000倍			
びわ	アブラムシ類 カメムシ類 ビワキジラミ	2000倍	前日	本剤: 4回 フェンプロパトリン : 9回 (#2)	
かき	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類・ハマキムシ類	1500倍	7日前	本剤: 3回 フェンプロパトリン : 8回 (#4)	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*
おうとう	ケムシ類	2000倍	200~700ℓ	前日	本剤:2回 フェンプロパトリン :7回 (#1)
すもも	シンクイムシ類				

- #1: 噴射は5回、散布は2回
 #2: 噴射は5回、散布及びくん煙は合計4回
 #3: 噴射は5回、散布は5回
 #4: 噴射は5回、散布は3回

使用方法: 散布

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意する。
 - 内袋はぬれた手で触れない。
 - 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切る。
 - 薬液調製の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく攪拌する。
- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合する。
- なしのハダニ類及びりんごのナミハダニに対する残効は、短い傾向があるので留意する。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発生しやすいので、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用。また、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努める。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。
 なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。
 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。
 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤はのど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
 また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

(2022年11月24日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- 摘果等の作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理する。
- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
- 水溶性フィルムで包装した製剤は吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](#))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4)－F」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- ハダニ類にも効果があります。